

中学校

言語活動

「体験から感じ取ったことを表現する」

育成したい
言語の能力

感じる力：鏡の中の自分を見て、表情から心境を感じる。

考える力：自分の表現したい内容について心情を基に考える。

教材等の例

「自己を見つめて」(4時間目)

1 自己を見つめてみよう

鏡の中の自分	近頃の私
--------	------

2 こんな自分を表現したい

思いや考え
工夫したいところ

単元の流れ(単元全体としては、学習活動「課題について、構想を立てて実践し、評価・改善する」)

発想・構想(3時間)

- ・自己を見つめる
- ・参考作品を鑑賞し、表現意図や多様な表現方法を知る。
- ・画面構成を考える。

表現(5時間)

- ・構想にあった下書きをする。
- ・自分色を意識して彩色を行う。
- ・友達と作品を見合い、批評しながら作品を完成させる。

鑑賞(1時間)

- ・自他の作品のよさを味わい自己表現の喜びを味わう。

単元名等

3年 美術 「自己を見つめて」

1・3時間目/9時間

本時の目標

今の自分とじっくり向き合い、感じたこと、考えたこと、これからの夢など外面だけでなく内面についても触れ、表現意図を明らかにする。

本時の流れ

感じ取る

(1時間目)

鏡に映った自分を見ながら、肌や髪などに触れて、自己を見つめる。
鏡の中の自分を見て思ったこと、触れて感じたことについてワークシートに書く。

指導の工夫

鏡に映った姿や手触り心情面など多角的に自己を見つめ、感じたことを書く。

表現する

ペアになった友達に、感じ取った自己について紹介する。
自己紹介を聴いた人は、本人の気付いていない姿について、伝える。

話合いを通して、友達の目から見た自己について気付く。

(3時間目)

表現したい思いや考えをワークシートに書く。
思いや考えを効果的に表現するための色彩や構成(単純化や省略、強調など)についてワークシートに書く。

表現したい思いについて自分の考えを書く。